

大和幼稚園の ハロウィーンごっこ

大和幼稚園では、活動をするうえで、子どもどうしの話し合いをだいじにしています。年長児の間で、おばけごっこがはやっていたので、ハロウィーンの絵本を読み聞かせたりしていました。そのうちに、あそびがどんどん進み、子どもたちが自分でハロウィーンの衣装を作ったりするようになりました。そこで、クリスマス会で劇あそびをしようと話し合いました。ひとりの子どもがお話を作ってきたのをきっかけに、みんながそのストーリーを膨らませ、毎日少しずつお話を発展していったのです。歌を作ったり、小道具を作ったりと役割分担も子どもたちが行い、ハロウィーンごっこから、多彩な活動が展開されていきました。



衣装の配置

・ 衣装は洗濯したきれいなものを。しかしやがて汚れ、いたりすることによる気が起こらない。変身することのワクワク感が味わえるように、清潔感のある物や明るい色合いのものをなるべく準備しよう。



変身コーナーと ジエンダー

市川薰子（大和幼稚園主事）

それには、社会的な背景が影響している。歐米の幼児教育施設を訪れた際、男の子がホームコーナーで、お料理を作ったり、お皿を洗ったり、お買い物に行ったり、赤ちゃんにミルクを飲ませたりといつづらを見る機会が多くありました。日本においては、家庭で父親と母親が家事を分担し、協力しながら生活していることが、子どものあそびに反映されているのです。日本の保護も見習う点があると思います。



ファンタジーの世界の入り口

扉を介することで、ファンタジーの世界へと入り込みやすくなる。変身した姿で出てくるということが、ごっこあそびを一段と盛り上げる。

発達に添つた ごっこ遊び

二月

ファンタジーの世界への違いがわかつてゐるので、なりきつてあそぶよりも、日常生活に即したりアルなあそびを好むようになつてきます。

年少児では、お母さんごっこのはか、動物のお面や帽子をかぶつての動物ごっこ、触角や羽をつけてのチョウゴっこなど、簡単にあそべる変身ごっこが主流です。平行あそび的な要素があるので、みんなでとくいうより、それぞれが楽しみながらあそびます。小道具や衣装は、保育者が準備する必要があります。



変身コトナリーナーの環境設定

協力 大和幼稚園
(東京都)

